

講師名		講義タイトル	講義内容	研究分野
教授	石原 慎士	産学・異業種連携による地域性を生かした商品開発について	消費市場の成熟化や海外製品との競争によって、「良いモノ」をつくっても売れない時代になりました。この講義では石巻地域における産学・異業種連携による商品開発事業について例示しながら、地方都市における地域性を生かした商品開発のあり方について説明します。	商学 経営学
		地域ブランドの構築に向けた地域マーケティングのあり方について	近年、地域ブランドの構築を試みる地域が増えてきました。しかし、期待していたような成果が見いだせず、事業が衰退してしまうという事例も散見されます。この講義では、現代的なブランドの概念を踏まえながら地域ブランドの構築手法や地域マーケティングの方策について説明します。	
教授	市野澤 潤平	南の楽園で働くということ:タイにおける日本人観光ダイビング・ガイドの職業生活	グローバル化が進んでいる今日の世界において、海外で働くのは、決して特別なことではありません。本講義では、タイのプーケット島を主な事例として取り上げながら、海外のリゾート観光地で働く日本の若者達が直面する、楽しくも厳しい現実を、紹介します。	観光学 文化人類学
		商品化されたエスニシティ:台湾におけるタイ料理店の歴史と現状	本講義では、台湾におけるタイ料理店を事例として取り上げ、「民族」に固有のものであるはずの「文化」が、市場で売買される商品となっている現状について、考察します。	
教授	大谷 尚之	「キットカット」から考えるマーケティング	ネスレ社の「キットカット」は受験のお守りとして知られています。しかし、モノとしてのキットカットはチョコレート菓子に過ぎません。なぜキットカットは受験のお守りになったのでしょうか。この講義では、顧客ターゲットの拡大という最近の動きも踏まえながら、ネスレ社によるキットカットのマーケティング戦略について考えます。	商学
		宇都宮はなぜ「餃子のまち」になったのか	栃木県宇都宮市は「餃子のまち」として知られています。しかし、1990年代の初めまでは、地元の人ですら、餃子が宇都宮の名物だとは考えていませんでした。この講義では、市の職員が餃子によるまちおこしを提案し、「餃子のまち」へと成長するまでの過程を地域ブランドづくりの観点から考えます。	
教授	永田 貴聖	日本に外国人移住者が増加しているって？今後の社会はどうする？	日本では、ここ数年外国人移住者が増加しています。80年代のフィリピン人の増加にはじまり、最近では街に多くのインド料理店や中国料理店をみるようになりました。また、コンビニでも多くの外国人労働者をみかけます。「島国」と言われていた日本、どんな社会になるべきなのか？	移民研究 文化人類学
		フィリピン人は世界に飛びまわる！！	フィリピンは1000万人近くの移民を世界各地に送り出しています。日本にも26万人のフィリピン人が暮らしています。しかも、フィリピン人は移住先の人びとと交流しながらも、フィリピン人同士の仲間意識を大切にします。身近なフィリピン人、世界のフィリピン人について触れてみましょう！	
教授	渡部 美紀子	クレープ屋さんを開こう！	クレープ屋さんを開業するには、何が必要か考えてみましょう！1個当たりの値段はどうする？どこで開業する？どうしたら儲けが出る？儲けて、どうやって計算するの？グループに分かれて、どこが一番儲かったのかも競います。	会計学

講師名		講義タイトル	講義内容	研究分野
准教授	阿部 浩之	「感情労働とは？」	労働には、肉体労働や頭脳労働などさまざまな種類がありますが、近年、感情労働といわれる労働が注目されるようになってきました。モノではなくヒトを相手とする労働(仕事)においては労働者は自分の感情をコントロールしなければならない場面が多くあります。「気遣い」や「気疲れ」は感情労働そのものです。感情労働を求められる対人サービス労働について具体的にみなさんと考えていきます。	経済学
准教授	成田 凌	地元に残ること/地元を離れること/地元に戻る ことについて考えてみよう	本講義では「地方からの人口流出を食い止めるには何が必要か/人びとを呼び込むための画期的な方策は何か」を提示するのではなく、人びとの暮らし方や価値観と「地域を移動すること/しないこと」や「(家族や友人・知人を含めた)地域社会との関わり方や影響」についてお話ししたいと思います。みなさんのこれまでの経験を振り返ったり、これから歩んでいくキャリアや将来を展望したりしながら、地域社会(結婚・家族、友人・知人、仕事、地方/中央、農村/都市)がわれわれの暮らしにどのように関わることかを一緒に考え、議論してみましょう。	社会学
准教授	舩井 道晴	AIが拓くビジネスの可能性	近年、AIをはじめとした新しいテクノロジーを活用した商品、サービスが開発されています。実用化が始まった段階ですが、数年先には、様々な形でみなさんの目の前に登場することでしょう。本講義では、これからのビジネスに必要となる知識・技術の基礎を解説します。	情報学 経営学
		戦略的思考にチャレンジ!	「戦略的思考」や「論理的思考」。「身に付けておいた方が良いビジネススキルは？」というアンケートで必ず上位にランキングされるこのスキル。ですが、結構苦手としている人もいないでしょうか？本講義では、「ゲーム理論」「行動経済学」に因んだトピックを通じて、戦略的思考の基礎を学びます。	

講師名		講義タイトル	講義内容	研究分野
教授	石川 隆	切り紙による様々な図形	折り紙を規則的に折って切ることで、花や星などの形を作り出す方法を学びます。	美術・造形
		色の世界(色の組み合わせ)	画面を一定の規則にそって分割し色の組み合わせを考えながら着色することによって、抽象的な絵画を製作します。	
		紙工作(蛇腹を使って)	蛇腹折りと言う折り方を利用して、子どもが遊べる簡単なおもちゃを製作します。	
教授	磯部 裕子	保育という仕事 —子どもの発達に関わるとは—	幼稚園の先生や保育所の保育士は、子どもとともに生活し、子どもの遊びを通して教育します。「遊びを通して教育」とは、子どもの遊び相手をするものではありません。「遊び」という体験によって子どもが学び、子ども自身が発達するための支援をするのが保育という仕事です。こうした保育の仕事の具体を紹介しながら、子どもの成長に関わるこの意味を講義します。	幼児教育学 保育 カリキュラム論
		世界の保育事情と日本の保育 —子育てからみた文化論—	世界のどんな国でも、子どもは大人たちに支えられながら成長していきます。しかし、子育てのあり様は、国によって実にさまざまです。講義では、世界各国の保育事情を紹介し、日本の保育と比較検討してみたいと思います。子育てのあり様から、国の文化を見ることができます。	
教授	尾形 良子	福祉の仕事の魅力とは	対人援助を行う仕事の一つである福祉職の魅力について説明します。これまでに出会ったことのある仕事はイメージがしやすいと思いますが、知らない仕事にもあなたに合ったものがあるかもしれません。	社会福祉
教授	西浦 和樹	生活を豊かにする「こころ」の話	日々の生活の中でのコミュニケーションの取り方について、もう一度見つめ直してみましよう。心理学の観点からアドバイスします。	教育心理学
		スウェーデンの教育とくらし	スウェーデンは、ノーベル賞などで有名な発明の国です。スウェーデンで実施した幼児・児童教育研修での視察の様子をご紹介します。	
准教授	伊藤 哲章	KAPLA(カプラ)の世界	カプラはフランス生まれのおもちゃです。オランダ語では、「KAbouter PLAnkjes(こびとの板)」で、その名前のとおり、手のひらにのるほどの薄くて小さな板です。すべて同じ形、同じ大きさの木片をただ積み重ねていくだけで、大人も子どもも夢中にさせるおもちゃです。1枚の板から広がる想像の世界を体験してみましよう。	幼児教育学
准教授	平川 久美子	「発達する」ってどんなこと？ —発達心理学を学ぶ意義—	「発達」とは、子どもが大人になることでしょうか？できなかったことができるようになることでしょうか？具体的な事例を示しながら、発達とはどのようなことか、発達が理解できるとどのような良いことがあるかを考えます。	発達心理学

講師名		講義タイトル	講義内容	研究分野
准教授	守 渉	幼児期の運動遊び	身の回りにはさまざまな物が遊びへと発展していきます。テレビゲームにはない運動遊びの魅力についてお伝えします。	幼児体育
教授	板橋 夏樹	世界のさまざまなエネルギー教育	国によって、理科の教育方法・内容は大きく異なります。本講座では、エネルギー教育分野を例に、アメリカやイギリスの教育方法を紹介しつつ、エネルギーについての多彩な実験活動を通して理解を深めます。	理科教育
		ネイチャーゲームの世界	環境教育は座学で学ぶものではありません。ネイチャーゲームは、様々なアクティビティを通して自然を体感・学習する教育プログラムです。この講座では、実際に幾つかのアクティビティを行うことで、自然のすばらしさに気付くことができるでしょう。	理科教育
教授	梅田 真理	発達障害のある子どもの理解と支援	発達障害の特徴や、接し方について誰でも知っておいて欲しいことをお伝えします。知っていることが、共に生きることの第一歩です。	特別支援教育 発達障害のある子どもの教育
教授	今野 孝一	東日本大震災と命を守る防災教育	東日本大震災時に女川町の離島出島(いづしま)で経験したことをもとに、子どもたちの命を守る防災教育はどうあったらいいのかを一緒に考えます。	防災教育
教授	白石 雅一	「障害」「障碍」「障がい」とは何か、を「社会」や「人」との関係から学ぶ	「障がい」は、周囲との関係によって決められていくものです。この関係重視の「障がい論」を具体的に講義します。	子どもの福祉 障害児の療育 心理療法
		自閉症や発達障害をもつ子どもや人の理解と接し方を学ぶ(入門編)	テレビや雑誌、多くの新刊本で目にするものが多くなった、自閉症や発達障害。その実際を知らないと援助も出来ないし、友だちにもなれません。関わりの第一歩をお教えします。	
教授	豊澤 弘伸	「言葉による見方・考え方」を働かせる国語科の学習指導について	「言葉による見方・考え方」を働かせるとはどういうことか。それによって、国語科の授業はどう変わるのか。「見方・考え方」を踏まえた授業の在り方を考察し、国語科の具体的な実践方法を論じます。	国語教育
准教授	藤崎 さなえ	Critical Thinking(批判的思考)とは何か?	日本人の中に、Why?という質問にうまく答えられない方が多く見受けられます。その原因の一つは、日本語では「理由、え?なんとなく」という、曖昧な答えで納得してもらえるからです。しかし、英語圏では「No reason」と答えると、「??」という表情をされるケースが多いのです。理由をしっかりと言えるようになるために、Critical Thinking(情報を鵜呑みにしない方法)とLogical Thinking(理論的に考える方法)を学習しましょう。	高等教育 英語教育

講師名		講義タイトル	講義内容	研究分野
教授	清水 禎文	変わる大学、変わる学び ヨーロッパにおける高等教育の大変貌	ヨーロッパでは欧州委員会の主導の下、高等教育(大学)が大きく変貌しつつあります。高等教育機関での学び方もまた大きく変わろうとしています。ヨーロッパの若者は、今何をどのように学ぼうとしているのか、具体的な事例に基づいてお話しします。	比較教育政策
		「学ぶ」とはどういうことなのか 学習・自己変容・社会の変容	「学ぶ」ということは、誰も経験していることであり、誰も分かっていることと思われがちです。しかし、学びの幅や深さ、その意義について深く考える機会にはほとんどありません。生涯学習の時代と言われようになってから久しいのですが、「学び」の意義と機能についてお話しします。	カリキュラム論
		専門職のキャリア形成	真に専門職となるためには、長いトレーニングが不可欠です。大学を卒業して資格を取得しても、それはキャリアの入り口に立ったにすぎません。長いキャリアを見通して、キャリア形成に必要なものを考えます。	キャリア形成
教授	鈴木 由美	キャリア支援	看護は人の誕生から死を迎えるまで、生涯において健康でよりよく生きることを支援する活動です。医療の現場で長く働いてきた経験を基に、どんな支援があり働いてこれたのか、また、看護の魅力やこれからの人たちに期待したいことをお話ししてみたいと思います。	看護学
教授	戸野塚 厚子	他国の教育を「窓」にして日本の教育(学び)を 再考してみよう～比較教育学への誘い～	「いつでも誰でもただで学べるスウェーデンの学校」、「多様な子どもが共に学ぶスウェーデンの学校」を紹介します。そして、他の世界、外から日本の教育を眺めてみると、どんな特徴と課題が見えてくるのか・・・、一緒に考えませんか？今年度は、コロナ禍の学校についてもスウェーデンと日本の比較検討をお話してみたいと思います。	教育学 カリキュラム 開発 ・ 比較教育学
		「共に生きることを学ぶ」って？	ユネスコの提唱を受けて、多くの国が「共に生きること(共生)」をカリキュラム化しようと挑戦しています。「移民との共生」、「大人と子どもとの共生」、「男女の共生」等、「他者との共生」を考え、葛藤することから何が見えてくるのか・・・、「共に生きるってどういうことなのか?」、「何のために学ぶのか?」を一緒に考えてみませんか？	
准教授	青木 拓巳	ぐっすり眠るためには？ —生活習慣や運動の観点から—	睡眠は、私たちにとってとても身近な現象のひとつです。ぐっすり眠ることは、健やかな日常を送るうえで大切な役割を担っています。この授業では、質の高い睡眠を得るための方法について、生活習慣や運動の観点からご紹介します。	スポーツ 健康科学
准教授	村野 敬一郎	子どもの育ち・子育てをどう支えるのか —就学前の教育・保育のための制度—	「幼保連携型認定こども園」の拡充などを柱とする、質の高い幼児教育・保育の提供、待機児童解消を目指した新しい施策が動き始めています。それらに触れながら、就学前の子どもたちのための教育・保育の在り方について考えます。	教育学
		教育が「人間」を「人間」にする	私たちにとって「教育する」という行動は、身近でごく当たり前のことですが、動物としての人間という観点からみると、特別な意味のある大切な行動なのです。人間にとって「教育する」ことがなぜ大切なのか、その意味を考えます。	

講師名		講義タイトル	講義内容	研究分野
教授	鎌田 由香	病院での管理栄養士の役割・管理栄養士になるためには	病院の管理栄養士の役割と業務内容について説明します。その他、管理栄養士はどのようなところで働いているのか、管理栄養士になるためにはどんな勉強をしなければならないのかを説明します。	臨床栄養学
教授	後藤 知子	食欲調節の不思議を探る	おなかがすく(空腹になる)と食べ、おなかがいっぱいになる(満腹になる)と食べ止める、という精巧な食欲調節の不思議を探り、食欲調節の乱れについても考えていきます。	栄養生理学
教授	佐々木 ルリ子	口から食べることの大切さを知る	口から食べることは生きることにつながります。食事はオギャアと生まれてから高齢までのライフステージごと、または個々人で違います。いつまでも口から食べるためにどのような工夫をしているかを紹介いたします。	給食経営管理論
教授	佐藤 陽	食の安全について考えよう	食の安全はどうやって守られているのでしょうか？ニュースに目を向けると、各地でアニサキスやノロウイルス、カンピロバクターなどによる食中毒が発生していたり、最近では紅麹関連製品による健康被害が大きな問題となっています。本講義では、これらの問題、事件を例に、わが国で行われている、食の安全を守るための仕組みについてお話します。	食品衛生学
教授	正木 恭介	痩せたら得する？太ったら得する？	わたしたちの体の素材は例外なく食物だけから供給されています。わたしたちが活動するためのエネルギーも同様です。しかし、食物の摂取が不足した場合には体重が減ります。過剰に摂取し続けた場合には太ります。「太って損すること、得すること。痩せて得すること、損すること。」を概説します。	栄養学
教授	益見 厚子	生物学を勉強して生活習慣病の原因を追求しよう	皆さんの代謝やエネルギーを調節している小さな細胞器官は、生物の授業で出てくるミトコンドリアなのです。食品の成分が遺伝子を調節して肥満を抑制するメカニズムについて解説します。	分子栄養学
教授	緑川 早苗	健康リスクとヘルスリテラシー	現代は健康に関する情報にあふれています。自分の健康にどんなことがリスクになるのか、どのリスクが大きくてどのリスクが小さいのかを考えたことはありますか？健康情報をどのようにとらえてリスクのトレードオフを行って行くのかを考えます。	臨床医学
准教授	濟渡 久美	食べる機能が低下した方に適した食事	疾病や老化などによって、食物を咀嚼(噛む)、嚥下(飲み込む)することが困難になる場合があります。そのような方に適した食べ物や飲み物にするための工夫について解説します。	調理学
准教授	丹野 久美子	高校生のためのスポーツ栄養学	競技力を向上させるためには、トレーニングと同様に栄養摂取も重要であることは、今やスポーツ界の常識となりました。では、スポーツ選手は何をどのように食べると良いのでしょうか。もっと強くなるために今すべきことを解説します。	栄養教育論
		高校生の食事の悩みを解決しよう	高校生は食事を自己管理できる半面、欠食やダイエットなどによる食生活の乱れが生じやすい時期でもあります。高校生に多い食生活の問題を取り上げ、どのようにしたら改善できるか、一緒に考えます。	

講師名		講義タイトル	講義内容	研究分野
教授	大久保 尚子	布をいつくむ -江戸の循環型生活文化と現代ファッション-	今日、ファストファッションの一方で、長く愛着をもって服とつきあう「スロー」なスタイルも注目されています。布自体を大切にしている江戸時代の衣生活の意味するもの、現代の古着愛好の背景、流行に「消費」されないデザインを追求するデザイナーたちを紹介し、布や衣服とのつきあい方を考えます。	服飾美学 服飾文化史
		きものと日本の文様	今、海外でもKIMONO展が開かれるなど、きものはグローバルに注目されています。その魅力の大きな要素に、さまざまな意味の込められた文様があります。人気アニメで再び親しまれている「市松」などの幾何学文様にも流行した時代なりのイメージがありました。文様の持つ物語をひもときます。	染織文化史
教授	長谷川 麻子	正しい「換気」とは？	新型コロナウイルス感染症の世界的な流行をきっかけに、「換気」の重要性が分かりました。みなさんの住まいや出かけた先では、正しい「換気」ができていますか？正しい「換気」について学び、実践できるようになりましょう。	建築環境 建築設備 公衆衛生
教授	安田 直民	家を建てる	家を建てるとはどんな行為でしょうか。建築主がお金を出すことでしょか。建築士が図面を引くことでしょうか。大工さんが木を刻むことでしょうか。そうしたことを全てが家を建てることです。土地に出会い、建物をイメージし、構造を考え、建物を建設する、「家を建てる」流れを実際の図面や写真で紹介いたします。	建築設計実務
		素材の話	現代の建物は様々な材料でできています。木、鉄、コンクリート、石膏、ガラス、アルミ、タイル、樹脂、紙、接着剤、ペンキ。こうした多くの材料を適材適所に使うことで建物が出来上がります。自分の身近な建物が何でできているか、なぜその材料が使われているのか。実際の素材に触れながら学んでいきましょう。	建築計画
准教授	藤田 嘉代子	働く女性にとって、仕事と子育ての両立とは？	日本では、子育ての負担が女性に重くのしかかり、男性はあまり家事や育児にかかわっていないことはよく知られています。では、フルタイムで働いている女性はどのように仕事の子育ての両立を図っているのでしょうか。また、専業主婦、パートタイムで働いている女性は？どっちがどれくらい大変なのか、いろいろな角度から考えてみましょう。	家族社会学
		男性・父親はどのくらい家事をしているのか？	最近育児休業法などが改正され、イクメンという言葉はすっかりなじんでいます。日本の父親の家事育児時間は先進国の中では最低ランクということを知っていましたか。父親たちがどのように家事や子育てに関わっているのか、また子どもが就学したあとはどうなのか、私が実施した調査をもとにお話します。みなさんが将来、どんな暮らしをしたいのか、それを実現するにはどうしたらいいか一緒に考えましょう。	ジェンダー論
助教	林 瑞紀	人間と空間 -環境心理学の視点から-	環境心理学とは、環境が人間の心理に与える影響を研究する学問です。私たちが公共空間を利用する際、周囲の物理的環境が人間の心理・行動に与える影響について具体的な事例を取り上げて紹介します。	建築計画 環境心理
助教	洞口 苗子	暮らしの中にあるデザイン	私たちの暮らしの中には、たくさんの小さなデザインがあります。デザインとは、単に見た目が整っているというだけではなく、用・強・美すべてに置いて最大限の配慮したものを言います。自分たちの暮らすまちや、身近な暮らしの中にあるデザインを、ぜひ一緒に発見していきましょう。	建築デザイン インテリア 地域づくり

講師名		講義タイトル	講義内容	研究分野
教授	千葉 幸一郎	文学と科学技術の接点 — 安部公房の短編小説を読む —	高校の国語の教科書には「赤い繭」などが掲載されているので、安部公房(1924-93)の作品は難解だというイメージが強いかもしれませんが、しかし、科学技術を扱った彼の短編小説は高校生のみならずにも意外と読みやすいと思います。一緒に味読していきましょう。	近代文学
		郷土の文学に触れてみよう	本講義では、台湾におけるタイ料理店を事例として取り上げ、「民族」に固有のものであるはずの「文化」が、市場で売買される商品となっている現状について、考察します。	
教授	深澤 昌夫	「変化の人」かぐや姫 — その光と影 —	絵本やアニメにもなり、日本人なら誰でも知っている「かぐや姫」。そのかぐや姫は竹取の翁に「変化(へんげ)の人」といわれています。かぐや姫は実際、帝の目の前でぱっと「かげ」になったりするのですが、さて、かぐや姫が「かげ」になるとはいったいどういうことでしょうか？	古典文学 全般
		わかるかな？ 読めるかな？ — 人文科学のための基本リテラシー・異文化解読ツールとしてののくずし字入門 —	リテラシーとは、簡単にいうと「読み書きそろばん」能力のことですが、これを身につけるのはそう容易ではありません。ここでは遠くて近い「もう一つの日本」を知るために、知っていると便利な異文化解読ツールを紹介し、時間が許せば試しに使ってみたいと思います。	
		闇の文学、闇の芸能 — 『平家物語』入門 —	生霊・死霊・怨霊・物の怪…。日本の文学と芸能は古来「闇」を見つめてきました。この講義ではラフカディオ・ハーン「耳なし芳一」から『平家物語』にさかのぼり、決して「無常観」だけではない『平家物語』の魅力の一端を紹介します。	
		不思議の国のカブキ — 超初心者のための歌舞伎入門 —	日本が世界に誇る伝統芸能、歌舞伎。しかし、よく考えると歌舞伎にはさまざまな「???」があります。この講義では歌舞伎超初心者の方の皆さんの「歌舞伎ってなに？」という素朴な疑問にお答えします。	
准教授	李 敬淑	映画『君の名は。』は人間の物語ではない?! — 映画分析の入門と新発見 —	2016年8月に公開された映画『君の名は。』は、主人公たちの恋の物語をタイムスリップモチーフと織り交ぜながら展開される物語として広く知られています。しかし、この映画を学問的な観点から分析していくと、ただ「楽しむ対象」として鑑賞した時とは違う新しい発見に出会えます。皆さんと一緒に「映画を分析する」という新鮮な体験を共有してみたいと思います。	日本文化 (映像文化)
准教授	笠間 はるな	明治文学の中の恋愛と結婚 — 樋口一葉「十三夜」を中心に —	いまから130年ほど昔、日本の小説に描かれた男女の恋や結婚はどのようなものだったのでしょうか。明治を代表する女性作家・樋口一葉の短編「十三夜」の読解を通して、明治時代の結婚制度の諸問題や、恋愛をめぐる当時の価値観を探っていきます。	日本 近代文学
准教授	菊地 恵太	日本流・漢字の付き合い方	漢字テストなどで苦手な印象のある人も多い「漢字」。中国生まれの漢字に初めて触れた日本人も大変苦労したことでしょう。一方で、日本人は古くから工夫を凝らして、漢字の独自の使い方を編み出していました。漢字を使った日本語の表し方、日本人が作った漢字、漢字の遊びなど、日本人の漢字との付き合い方を読み解き、これからの漢字の使い方について、一緒に考えましょう。	日本語学 (日本語史)
准教授	堀田 智子	日本語教師って、どんな仕事？	もし日本語を母語としない人たちから「日本語を教えてください！」と言われたら、何をどのように教えますか。この講義では、日本語教師という職業を紹介します。日本語支援のために必要となる、学習内容や方法を学びましょう。	日本語 教育学

講師名		講義タイトル	講義内容	研究分野
教授	Timothy Phelan	How can we learn another language?	Languages are the foundation of communication, thought, and culture, and without them, human society would not be possible. All humans learn at least one language. Some people even learn more than one. How is this possible? Let's think about ways to learn another language.	英語 勉強法
教授	増富 和浩	ことばの構造から探る英文法の世界	受験勉強では、英文法は丸暗記するしかないと思われているかもしれませんが、ことばが持つ表面からは見えないが、頭の中では意識できる構造に注目すると、ただ決められているだけに思える英文法の裏に面白い規則性が見えてくる。そんなことについて考えてみたいと思います。	英語学
教授	遊佐典昭	ことばの世界の面白さと不思議さ	何気なく使用している日本語を手がかりに、日本語の特徴、また英語との相違、共通点を考えてみたいと思います。 人間の言語知識について学ぶことで、人間の心を解明する言語研究の紹介をしながら、言語を研究することの知的興奮を味わいたと思います。	英語学 言語学 認知 脳科学
		なんで英語を学ぶの？	AI時代に英語を学ぶ意義はどこにあるのでしょうか？英語に限らず外国語を学ぶことで何が得られるのでしょうか。また効果的な学習法はあるのでしょうか？最近の、脳科学や認知科学の知見から外国語学習に役立つ話をします。	
教授	吉村 典子	英単語で探るイギリス文化の世界	英単語の意味の背景にある世界をみていきます。例えば'sport'には、「スポーツ」の他に、「気晴らし」や「娯楽」という意味があり、かつての英国貴族の生活様式と関係しています。このようにして語彙の世界を広げ、言葉と文化をつなげていきます。	イギリス 文化
准教授	酒井 祐輔	英語の詩を読んでみる	短めの英語の詩を読んで、詩人たちが言葉に凝らした工夫について説明していきます。また、文学作品を前にした時おそらく誰もが感じるであろう「どこまで深読みしていいの？」という疑問について考えてみます。	イギリス 文学
助教	Jennifer Green	The American Language	People speak English in America, right? But what kind of English? In this lecture, I will explain about different dialects in American English, why spelling is different between American and British English, other languages from America besides English, and more!	米国文化
助教	山口 晋平	19世紀アメリカ文学における視線と覗きの物語	今の時代「覗き」と聞くと低俗な行為のように聞こえますが、19世紀の作家にとってそれは作品執筆の根本に存在する重要な行為でした。作家のまなざし、視線が作品においてどのように機能するのか、そしてそこに存在する欲望から文学作品を読み直してみましよう。	アメリカ 文学

講師名		講義タイトル	講義内容	研究分野
教授	今林 直樹	マリー・アントワネットはどう生きたか	1789年7月14日、フランス革命が勃発。革命とともに人生が大きく変わったマリー・アントワネット。彼女は革命史においては常に「悪役」でしたが、本当にそうだったのでしょうか。果たして彼女の実像とは？近年の研究成果をもとにお話します。	政治史
		ゴッホへの旅	フィンセント・ファン・ゴッホ。日本で最も人気のある画家の一人です。わずか37年の人生ながら、私たちに強い印象を与え続けているゴッホ。ゴッホはどのような人生を送り、どのような絵画を遺したのか。彼の作品とともにゴッホの人生を振り返ります。	
		沖縄・世界遺産への旅	沖縄には首里城をはじめとする琉球王国時代の城(グスク)や最高の聖地である斎場御嶽などがあります。沖縄本島北部や西表島が世界自然遺産に認定されたことも記憶に新しいですね。沖縄独自の歴史と文化、そして豊かな自然についてお話します。	
教授	菅野 洋人	芸術入門	芸術ってなんですか？芸術を理解しよう、なんて思わないでください。まず大事なことは楽しむことです。実生活に直結する身近なところから仙台市内でいつでも見られる彫刻まで、芸術の楽しみ方を紹介します。	日本美術史
		西洋画とニッポン	油絵を描いたことはなくても、水彩画ならだれでも描いたことがあります。実はその水彩画、明治時代にイギリスからやってきたのです。じゃあどうやって？そしてどのようにこの国で広まっていったのでしょうか。簡単そうで実は奥が深い水彩画の世界をお話します。	
教授	高橋 陽一	江戸時代の旅	修学旅行、卒業旅行、新婚旅行…。今日の私たちにとって旅は人生の大きな1ページです。誰でもどこへでも旅ができる、そんな現代的な大衆旅行の環境が日本で整ったのは近世(江戸時代)です。飛行機も鉄道も自動車もないこの時代に、人々はどのように旅をしたのでしょうか。女性ならではの苦労話も織り交ぜながら、お話します。	歴史学 日本近世史
		地域の文化財を守る取り組み	頻発する災害や家の当主の代替わりの影響で、今、地域に残された文化財が消滅の危機に立たされています。地域の歩みを伝える貴重な歴史遺産である古文書(こもんじょ)を守ろうとする取り組みとそのノウハウをご紹介します。実際に古文書を持参して、撮影やクリーニングなどの実演も行います。地域と学校との連携事業として、取り入れてみませんか？	
教授	八木 祐子	サリーからみるインドの社会と文化	インドの民族衣装であるサリーや腕輪・化粧からみえる女性の地位や家族関係について紹介します。急速に経済発展する社会で、どのように女性の生活が変わってきたのかについてもとりあげます。映像資料やフィールドワーク体験をまじえて、楽しくお話します。	文化人類学
		旅するインド ー北インドの世界遺産ー	世界遺産の数が、世界で第6位のインド。北インドを中心に、インドの奥深い歴史や文化、世界遺産の魅力や宗教との関わり、隠された知恵などについて、映像資料をもちいながら、わかりやすくお話します。	
		インド・カレーの謎	インドには、「カレーライス」はありません。インドの人々が毎日食べているカレーの謎について、日本のカレーとどう違うのか、香辛料をたっぷり使った本場のインド・カレーの作り方、右手を使っての食べ方だけでなく、カレーの歴史や食文化全体についても、映像資料やフィールドワーク体験をまじえて、楽しくお話します。	
准教授	杉井 信	フィリピンの歴史と文化	日本から距離的には近いが、あまり知られていないフィリピンの伝統文化や現代の庶民文化、先住民の文化などを紹介し、そうした文化がどのような歴史の流れのなかで生まれたか、また歴史的に日本とどのような関係を結んできたかもお話します。	社会人類学
		熱帯の国フィリピンの避暑地へようこそ	東南アジアのフィリピンは常夏の国ですが、高原都市のバギオは避暑地として大人気です。実は日本との関わりも100年以上続いているこの都市の、独特の民族的、文化的な環境や歴史の紹介を通して、聞き手のみなさんの東南アジアのイメージをさらに豊かにしたいと思います。	

講師名		講義タイトル	講義内容	研究分野
学科教員		心理学で何がわかるの？(心理学入門)	心理学の研究例をみながら、心理学ではどのように心をとらえるのか、心理学は私たちの生活とどのように結びついているのか、などについてお話します。	心理学
教授	大橋 智樹 (公認心理師、 認定人間工学 専門家、防災 士)	カウンセリングと心理学の意外な関係とは？	心理学＝カウンセリング。そんなイメージは強いと思います。しかし、臨床心理士の立場からもそのイメージは正しくない。心理学の意外な姿をお話します。	臨床 心理学
		人工知能(AI)から心を考える	人工知能(AI)の発展は、ロボットやコンピュータが人間と同じような心をもつことができるか？などの問いを投げかけています。この問題から「心」とはなにか、考えてみましょう。	人工知能
		人はなぜミスをしてしまうのか？	本講義では、台湾におけるタイ料理店を事例として取り上げ、「民族」に固有のものであるはずの「文化」が、市場で売買される商品となっている現状について、考察します。	応用 心理学 安全 人間工学
教授	木野 和代 (公認心理師)	人はなぜ感じるのか？(感情心理学入門)	喜び・悲しみ・怒りなどの感情が生じるメカニズムやその働きについてお話します。これらから、感情コントロールの方法を考えてみましょう。	感情 心理学
		怒りのメカニズムと人間関係	怒りはよくない感情として避けられがちです。なぜ私たちは怒りを感じるのでしょうか。自他の怒りについての理解を深め、向き合い方を考えます。	感情 心理学 対人 心理学
教授	友野 隆成 (専門健康心理 士、専門社会 調査士)	血液型とパーソナリティ(性格)は関係あるの？	血液型とパーソナリティ(性格)は、本当に関係があるのでしょうか。血液型性格診断を信じてしまうカラクリをご紹介します。	パーソナリ ティ心理学
		ストレスってどんなもの？ ーストレス対処のコツー	私たちは、日ごろから色々なストレスを経験しています。ストレスを知り、その効果的な対処について考えてみましょう。	健康 心理学 ストレス 科学
		健康心理学ってどんな学問？	「病は気から」というように、私たちの心と身体には密接な関連があります。病気を予防し、健康の維持増進を目指す健康心理学についてお話します。	健康 心理学
准教授	浅野 晴哉 (公認心理師・ 臨床心理士)	どんな時に犯罪がおきるのか？	犯罪の発生は、加害者だけでなく被害者やその他の人との関係が重要です。警察・児童相談所・中学校において心理職として勤務した経験から、犯罪を心理学的な視点から捉える大切さを話し、その抑止について考えてみましょう。	犯罪 心理学
		なぜ犯罪被害者への支援が必要なのか？	警察において心理職として勤務した経験から、犯罪により家族を失った御遺族や性犯罪被害者の苦悩や辛さを心理学の視点から明らかに、かつ、心理支援の大切さについてお話します。	被害者 心理

講師名		講義タイトル	講義内容	研究分野
准教授	瀧澤 純	心理学からみるコミュニケーション	人間の認知的な限界や特徴を知り、他者との協調や共生を考える講義です。見落とし、もの忘れ、表情の読み取り、思い込み、ジレンマや葛藤などを解説します。	知覚心理学 認知心理学
		インターネットの影響と人間関係	インターネットの影響(SNSと炎上、噂の伝達、ロコミの効果)、身近な友人関係(いじり、助言、陰口)、身近な恋愛関係(恋愛6タイプ、失恋と成長)について取り上げます。	認知心理学 コミュニケーション心理学
		対人ゲームで学ぶ人間心理	じゃんけん、オセロ、3コマ並べ、20の質問、人狼、伝言ゲーム……。これらのゲームに役立つ理論を紹介し、数学的思考、論理的思考、情報分析を考えます。	認知心理学 認知科学
准教授	森 康浩	周囲の人に流されてしまうのはなぜ？	なぜ、人はルールや他者の主張に従ってしまうのでしょうか。社会心理学の観点からこのなぜについて考えてみましょう。	社会心理学
		環境が人にもたらす影響とは？	私たち人間をとりまく環境として物理的な環境であったり、社会的な環境があります。このような環境が人の心にどのように作用するのかお話しします。	
		社会現象・流行を生み出す心の科学	社会現象や流行は、人の心・行動と密接な関係があります。どのような関係があり、どのような影響をもたらすのか考えてみましょう。	

講師名		講義タイトル	講義内容	研究分野
教授	井坂 恵	あなたの本当の声とは？	誰でもその人にしかない声をもっています。でも多くの人は、ご自分の声の魅力に気づかずにいるのではないのでしょうか。発声のポイントレッスンにより、ご自分の声を知り、その可能性をひろげていきましょう。より愉しく楽に声が出せるようになり、歌いだしたくなるはずです。	声楽
教授	及川 浩治	ピアノとトークで楽しむ音楽の魅力(天才たちの魔法)	ショパンやリストのピアノ曲やベートーヴェンの交響曲「運命」をはじめとする、様々なジャンルの音楽を、皆さんと一緒に楽しみながらその魅力の謎にせまります。	ピアノ
教授	船橋 洋介	指揮をしてみよう	指揮とは何か、その役割について実際に指揮を体験しながら、さまざまな音楽の仕事を概観します。	指揮 ・ 音楽教育
		アンサンブルを楽しもう	主に吹奏楽などの合奏、ヴォーカルアンサンブルなどの合唱を通して、音楽の醍醐味でもある「アンサンブル」の魅力を味わうために必要なポイントや、耳の使い方について実践しながら考えていきます。	
		クラシック音楽の楽しみ方	指揮者の観点から、音楽を「演奏すること」と「鑑賞すること」の楽しみ方を、作曲家が書いた「楽譜」を通して、映像資料や実演を交えながら掘り下げていきます。	
准教授	越懸澤 麻衣	ベートーヴェンのすごさとは？	「大作曲家」としてベートーヴェンの名前はみなさんも聞いたことがあると思います。でも、ベートーヴェンの音楽は何がそんなにすごいのでしょうか。いくつかの作品を聴きながら、その秘密に迫ります。	音楽学
准教授	松山 裕美子	こんなに変わる！君のピアノ伴奏	県内の中学校では校内の合唱コンクールが盛んです。合唱部が盛んな高校もたくさんあります。そのピアノ伴奏が大きく変わったら、合唱全体ももっと飛躍できるはず。そのために、ちょっとしたポイントからアドバイスしていきます。	ピアノ

講師名		講義タイトル	講義内容	研究分野
教授	石田 依子	アニメ・漫画・童話から学ぶジェンダー学	皆さんは子どもの頃からアニメや漫画を見てきましたか？あるいは童話を読んだことはありますか？実は、このような大衆文化によって私たちは、子どもの頃から知らず知らずのうちにジェンダーに対する固定観念を持ってしまっていることがあります。この講義では、アニメ、漫画、童話の世界から見るジェンダー表象についてお話します。この講義を通して、異なるジェンダー表現を理解し、受け入れる力を育ててみませんか？	ジェンダー論
		女性の勇気、海の奥深くへ：アン・ボニーとメアリー・リードの女海賊伝説	歴史上の実在の人物である、アン・ボニーやメアリー・リードなどの女性海賊を取り上げ、彼女たちの生涯や冒険、そして時代背景についてお話します。17世紀から18世紀にかけて、彼女たちは男性と同等に船を指揮し、戦闘に参加しました。彼女たちの活躍は、当時のジェンダー役割の制約に挑戦し、女性の力と勇気を示す素晴らしい例です。彼女たちの物語を通じて、海上の女性が直面した困難や彼女たちの持つ影響力について考察し、歴史の中での彼女たちの役割に光を当てます。	海上女性史 ジェンダー論
教授	大内 典	楽器で探る世界の文化	ピアノ、吹奏楽の楽器、民族楽器—すてきな音楽を生み出す道具ですが、それだけではありません。楽器には、それを生み出した文化の情報がぎっしりつまっています。楽器から人間の活動の豊かさ、深さを探ってみましょう。	音楽学 音楽文化学
		歌声さまざま—声の文化の多様性—	澄んだ透明な声は良い声ではない！？動物を声であやす！？お坊さんは唄で修行する？—意外に充ちた声の文化の広がりのあるものを探ります。	
教授	木村 春美	Rainbow War	“Rainbow War”という短編映画をもとに英語技能の育成と共に異文化理解を進めます。異質な他者との出会いは私たちの日常に溢れています。そうした他者とどのような関係性を構築していくのかを考えます。	第二言語習得論 英語教育
		ドラマで英語	気持ちを込めなければ言葉にならないのは日本語も英語も同じです。ドラマ仕立てで感情表現を工夫し、会話を楽しみましょう。役になりきる！これこそ学習のコツです。	
		英語発音で遊ぼう	英語の発音は難しいと思っていませんか？逆に、英語でのコミュニケーションで、相手に理解してもらえず悲しい思いをしたことはありませんか？練習なしには上達しませんが、考えすぎて臆病になる必要もありません。楽しみながら英語発音の基礎を学びましょう。	
教授	小羽田 誠治	中国茶の歴史	私たちの日常生活に欠かせない飲み物の1つであるお茶は、中国を起源としています。人類がお茶を飲む習慣はいつどのように始まり、発展・変化して今に至っているのか。これを知れば、お茶を飲むたびに、人々の工夫の歴史を感じることができるでしょう。	中国史
教授	小山 和彦	作曲にトライ	作曲をすることによって、音楽で自分の表現ができることは、すばらしいことです。取り掛かり方が分かれば、誰でも作曲ができるようになります。その場でなんとか短い歌やメロディーを作ってみましょう。	作曲
		音楽の効果と表現について	音楽は、無数の音を組み立てて出来ています。音の組み立て方や意味がわかると、音楽の楽しみ方がさらに深くなってゆきます。クラシックから、映画音楽、ポップスなど、様々なジャンルの曲を例として、音の意味、そして、音の組み立てからどのような効果を出そうとしているのかを考えてみます。	音楽理論
教授	田中 一裕	虫たちの冬越し	冬の寒さをいかにしてのりきるか。これは温帯で暮らす虫たちにとって避けては通れない問題です。彼らはじつに多様な方法で寒さに耐え、冬を生き抜いています。寒さに耐える仕組みを中心に、虫たちの冬越しの不思議を紹介します。	生理生態学
		ヒトと虫	かつて日本人は世界に名だたる虫好き民族でした。しかし、最近は日本でも虫を嫌う人が多い、といえます。なぜヒトは虫を嫌うのか？ヒトと虫が良い関係を築くことは不可能なのか？アンケート調査の結果をもとに、現代日本人の昆虫観を考察します。	

講師名		講義タイトル	講義内容	研究分野
教授	近松 健	宇宙の科学	太陽系惑星はなぜ多様な姿を見せるのか、太陽の内部をどのように知るのか、夜空に瞬く恒星は私たちとどのような関係にあるのか、ブラックホールは怖い存在なのか、宇宙はどのようにしてはじまったのか。 宇宙の基本的なことがらについて、これまでにどのようなことがわかり、どのような謎が残されているかを紹介します。	物理学
教授	早矢仕 智子	多文化共生社会と「やさしい日本語」	外国人とコミュニケーションをする方法は英語だけではありません。この授業では「やさしい日本語」のしくみを理解し、自ら使いこなせるための演習も行います。外国人の立場にたって日本語を外から眺めてみましょう。きっと新しい発見があるはずです。	日本語教育学
		自己と向き合う異文化理解	ステレオタイプということばを聞いたことがありますか？多くの人に浸透している先入観や思い込みのことです。ステレオタイプが作り出されるメカニズムを学び、私たちの「常識」とは何か、を問い直します。自己と異なるモノやヒトとの出会いを楽しむ方法を見つけよう。	異文化理解
准教授	川口 かすみ	LGBTQと同性婚	結婚をするかしないか、いつ、誰と結婚するかは、個人の幸福追求に関して重要なことです。日本では、同性カップルに対して自治体レベルでのパートナーシップ制度の導入は進みつつありますが、同性間の結婚は認められていません。この講義では、米国の判例を紹介しながら、結婚の制度のあり方について考えていきます。	憲法学
准教授	木口 寛久	英語と世界の音と文字	この講義では、果たしてアルファベットが英語の発音を正確に表しているのかいないのかという問いについて考えていきます。また、それに関連して、世界のいくつかの言語の音と文字を、英語と比べながら紹介します。	英語学 第一言語習得
准教授	栗原 健	イエスのたとえ話	新約聖書に記されているイエスのたとえ話は、当時の人々の宗教常識やものをひっくり返すような要素が数多く含まれています。「なんでやねん！」と驚くことによって、2000年間人々を魅了してきた知恵を学び、新たな視点から現代社会の問題などを考察していきます。	キリスト教史 ドイツ史
准教授	間瀬 幸江	フランス語とフランスパン	フランス語は、フランスはもちろんのこと、北米、アフリカ、アジアや太平洋、ヨーロッパなど、世界のあちこちで話されています。このことを「フランコフォニー」といいます。そして、フランスといえばパン！フランスのパン文化のあれこれを知り、いろいろなパンを、自分で注文することばを学びましょう。日本のパン屋さんでもちよっと自慢できるかもしれません。ところで、フランス語で「パン」ってなんていうのでしょうか？答えは…「パン」！	フランス語 フランス文化
准教授	松本 周	悲しむことと、生きること	私たちはあまりに大きな悲しみに直面すると生きる力を失ってしまいます。けれども、そのような中から人生をもう一度歩み始めるとき、今までより深い意味を持って生きる人生が始まります。人生の先輩たちの生き方から、そのヒントを探っていきます。	悲嘆 (グリーフ)ケア
		平和な世界をつくり出すために	平和な世界になってほしい、私たちは皆そう願っています。ところで平和とは単に戦争のない状態ではなく、人々を生きにくくするすべての力がなくなる状態を言います。どのようにしてこの世界に平和を実現できるか、一緒に考えたいと思います。	社会倫理 平和学
助教	渡辺 圭佑	アスリートのスポーツ医科学的サポートについて	この講義では、スポーツ医学を用いたトップアスリートに対するサポートについて、様々な事例を用いて説明します。トップアスリートの身体能力やスキルについて、科学的な知見から考えます。	スポーツ健康科学